



石橋春雄議員  
(創匠の会)



### 消防組合野栄分署の改修

**問** 消防本部建物は、昭和45年に建設され、55年経過している。野栄分署は昭和46年に建設され、23年後の平成6年に建て替えている。本部を建て替えないで、なぜ野栄分署を改修しているのか、また、事業費は。

**答** 「市長」防災拠点としての機能維持及び女性職員が働ける環境整備のため、大規模改修を行うものである。

「総務課長」令和6年度から令和8年度における事業費は、2億9,000万円を予定していると伺っている。

**問** 本部建替用地が匠瑤IC付近に決定した。組合開設から55年経過し、道路事情も数倍よくなっていることから、本部と野栄分署を統合すべきか、協議・議論すべきである。

**答** 「市長」平成28年度に実施した常備消防力適正配置調査で、火災、救急等が同時に発生した場合、対応が困難になるとの結果から野栄分署は必要な施設だと考えている。

**問** 旭、銚子消防本部では分署・分遣所の統合が先行していると伺っているが「総務課長」銚子市消防本部では平成30年に高神分遣所と海上分遣所が統合し、東部分署を設置。旭市消防本部では令和7年に海上分署と飯岡分署が統合し、東部分署を設置している。

### パークゴルフそうさの運営

**問** 6年度の使用料が270万円、あさひパークゴルフは698万円、428万円も少ないが。

**答** 「生涯学習課長」旭市は月極会員が90名、匠瑤市は15名と少ないため、利用者数1万2,248人、旭市は1万8,755人、6,500人も少ないが。

**問** 「市長」パークゴルフの魅力を伝えながら、競技人口を増やすことにつなげてまいりたい。

### ジャンボタニシの退治

**問** 昭和56年、食用目的で台湾から輸入され、養殖が始められたが、神経毒が含まれていることから商品価値を失い、養殖業者の廃業等により水田で野生化した。環境保全活動事業で取り組めば効果的であると考えが。

**答** 「農林水産課長」ジャンボタニシの防除に関する印刷物や具体的な対策の周知を図っているところである。

### 旧松山清掃工場の解体費用負担

**問** 多古町及び横芝光町の2町に負担を求めない誰が決めたのか。

**答** 「環境生活課長」太田前市長在職時より負担を求めないとされてきた。太田前市長が負担を求めないと決めたということでしょうか。

**問** 「市長」当初から、そのようなことを継続してきたという考えである。太田前市長は、2町に負担を求めないとは、どこでも言っていない。どこで言ったのか。

**答** 「市長」どの時点で言ったのか把握していない。



菊谷進一議員  
(二十一世紀の会)



### 財政問題

**問** 財調の残高が減ってきている。以前も議員にもっと相談をして今後の事業の考え方をきちんとした方がよいと言ったが、何も相談がない。何でもかんでもやっていたらお金がなくなる。事業が積み重なっている中で、やることとやらなことを考えないと成果にならないのではないかと。

**答** 「市長」財政健全化に向けた中で、意見を伺う場を設けていきたいと考えている。各担当課とも調整していきたいと考えている。

**問** 去年要求額で予算は幾らオーバーしていたか。

**答** 「市長」17億円以上がオーバーしていた。

**問** 津波避難タワーの問題について、私は国交省のほうに、何らかの方策は取っていただけないか、独自のルートでお願ひしてある。あらゆる人脈、観点から対応すべきと思うが、どうか。

**答** 「市長」費用等、財政面でかなり厳しい状況があるので、様々な人脈を使ってでも問題を解決すべきだと思う。

### 病院問題

**問** 病院経営問題について、ここから何千万、何億円と切り詰めができない、無理ではないか。損益分岐点すら正式に市長は分かっている。病院がこのままいくと赤字の垂れ流しではないのか。これ以上改革できないのに、病院の建設を強行するというのであれば、市民として私も賛成できない。予算に対して、例えば新しい方式で決定した会社が予算をオーバーしたら、それでも事業をやるのか。

**答** 「市長」当然立ち止まらなければいけない可能性もある、今後しっかり判断していきたい。

**問** 初めて市長から立ち止まるといふ言葉を聞いたが、周辺整備事業と莫大な金額を借金して、1億幾ら毎年払っていけばいいと、毎年基準外繰り入れとか増えたらやっつけいけなくなる。タイミングは分らないが、立ち止まるところは立ち止まっていただかないと思うが、ないと思う。これ以上予算を切り詰めることはできない。努力の量が報われないこともある。改めてどうなのか。

**答** 「市長」病院の建て替えの必要性は答弁してきたが、建て替えと病院黒字化は喫緊の課題であり、どっちもしっかりと進めていかなければならない、両立が成り立つよう取り組み、しっかりと経営改善に病院とも相談して取り組んでいきたい。